

# 平成26年度 決算状況(市区町村)

都道府県名 島根県

総務省

## - 目次 -

市区町村名 ページ

松江市	2
浜田市	3
出雲市	4
益田市	5
大田市	6
安来市	7
江津市	8
雲南市	9
奥出雲町	10
飯南町	11
川本町	12
美郷町	13
邑南町	14
津和野町	15
吉賀町	16
海士町	17
西ノ島町	18
知夫村	19
隠岐の島町	20



平成26年度決算状況
表: 歳入の状況 (単位千円・%)
表: 歳入の質別歳出の状況 (単位千円・%)
表: 歳出の質別歳出の状況 (単位千円・%)
表: 歳入の質別歳出の状況 (単位千円・%)

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。









平成26年度決算状況
22年国調 27,774人 -7.5%
26年国調 25,000人 -0.9%
歳入の状況 (単位千円・%)
歳入合計 18,560,263
歳出合計 17,770,201
歳入歳出差引 790,062
実質収支 514,694
単年度収支 225,828
積立金 102
繰上償還金 10,400
繰上償還金取崩し額 -
実質単年度収支 236,330
指定団体等の指定状況
一般職員等 239人
ラスパイレス指数 91.8
歳入歳出の状況 (単位千円・%)
歳入 2,715,292
歳出 2,715,292
歳入歳出差引 0
実質収支 0
単年度収支 0
積立金 0
繰上償還金 0
繰上償還金取崩し額 0
実質単年度収支 0

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業費補助金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における標準財政収入額及び標準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算入に要した値であり、財政力指数は、前記の標準財政需要額及び標準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)







平成26年度 決算状況. Table with columns for 平成26年度, 区 分, 住民基本台帳人口, うち日本人, 産 業 構 造, 都道府県名, 団 体 名, 市町村類型, etc. The table is divided into several major sections: 歳入の状況, 歳出の状況, 財政力の指標, and 将来負担比率.

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。 2. 東京都特別区における標準財政収入額及び標準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の標準財政需要額及び標準財政収入額により算出。 3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。 4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。 5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。 6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)



平成26年度 決算状況		人口 増減率	22年国調 17年国調 増減率	5,351人 5,911人 -9.5%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名	団体名	市町村類型	-	
								区分	22年国調	17年国調					
						5,198人	5,183人	第1次	353 15.0	557 19.9	32	4485	地方交付税種地	2-1	
				282.92km <sup>2</sup> 19人	26.1.1 増減率	5,301人 -1.9%	5,284人 -1.9%	第2次	623 26.4	784 28.0	島根県	美郷町			
歳入の状況 (単位千円・%)															
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況 (単位千円・%)				指定団体等の指定状況						
					区分	収入済額	構成比	超過課税分							
地方譲与税	460,251	6.7	460,251	11.8	普通税	459,592	99.9	37,705	旧新産	×					
地方交付金	66,181	1.0	66,181	1.7	法定普通税	459,592	99.9	37,705	旧工特	×					
配当交付金	988	0.0	988	0.0	市町村民税	145,958	31.7	1,241	低開発	×					
株式等譲渡所得割交付金	1,026	0.0	1,026	0.0	内 個人均等割	7,403	1.6	-	旧産炭	×					
地方消費税交付金	51,311	0.7	51,311	1.3	内 所得割	115,961	25.2	-	山振	×					
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	内 法人均等割	14,995	3.3	-	過疎	×					
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	内 法人税割	7,599	1.7	1,241	首都	×					
自動車取得税交付金	5,154	0.1	5,154	0.1	固定資産税	280,249	60.9	36,464	近畿	×					
軽油引取税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	277,934	60.4	36,464	中部	×					
地方特例交付金	1,180	0.0	1,180	0.0	軽自動車税	14,127	3.1	-	財政健全化等	×					
地方交付税	3,727,714	54.1	3,304,958	84.6	市町村たばこ税	19,258	4.2	-	指数表選定	×					
内 普通交付税	3,304,958	48.0	3,304,958	84.6	法定外普通税	-	-	-	財源超過	×					
内 特別交付税	422,756	6.1	-	-	目的税	659	0.1	-							
内 震災復興特別交付税	-	-	-	-	法定目的税	659	0.1	-							
(一般財源計)	4,315,688	62.7	3,892,932	99.7	入湯税	659	0.1	-							
交通安全対策特別交付金	611	0.0	611	0.0	事業所税	-	-	-							
分担金・負担金	43,278	0.6	2,747	0.1	都市計画税	-	-	-							
使用料	63,208	0.9	3,084	0.1	水利地益税等	-	-	-							
手数	9,949	0.1	13	0.0	法定外目的税	-	-	-							
国庫支出金	744,718	10.8	-	-	旧法による税	-	-	-							
国有提供交付金	-	-	-	-	合計	460,251	100.0	37,705							
(特別区財調交付金)	-	-	-	-											
都道府県支出金	541,351	7.9	-	-											
財産収入	27,469	0.4	2,616	0.1											
寄附金	925	0.0	-	-											
繰入金	61,508	0.9	-	-											
繰越金	140,907	2.0	-	-											
諸収入	109,218	1.6	4,445	0.1											
地方債	826,100	12.0	-	-											
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-											
うち臨時財政対策債	202,500	2.9	-	-											
歳入合計	6,884,930	100.0	3,906,448	100.0											
性質別歳出の状況 (単位千円・%)															
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち 普通建設事業費	(A)の 充当一般財源等	区分			平成26年度(千円)	平成25年度(千円)
人件費	803,436	12.2	762,767	738,410	18.0	議会費	74,355	1.1	-	74,355	基準財政収入額	448,409	454,168		
うち職員給	489,935	7.4	464,628	-	-	総務費	1,262,987	19.2	273,734	845,683	基準財政需要額	3,405,759	3,338,041		
扶助費	677,234	10.3	253,451	249,857	6.1	民生費	1,314,053	20.0	-	748,921	標準税収入額等	557,112	568,721		
公債	1,377,839	20.9	1,310,160	1,310,160	31.9	衛生費	403,178	6.1	-	384,218	標準財政規模	4,064,612	4,049,297		
内 元利償還金	1,248,130	19.0	1,187,405	1,187,405	28.9	労働費	11,403	0.2	-	75	財政力指数	0.13	0.14		
内 元金	129,679	2.0	122,725	122,725	3.0	農林水産業費	494,442	7.5	143,200	272,824	実質収支比率(%)	2.7	2.3		
内 利息	30	0.0	30	30	0.0	農林水産業費	28,353	0.4	-	14,858	公債費負担比率(%)	27.2	24.8		
一時借入金	30	0.0	30	30	0.0	農林水産業費	494,442	7.5	143,200	272,824	健全化判断比率	-	-		
(義務的経費計)	2,858,509	43.4	2,326,378	2,298,427	55.9	農林水産業費	627,424	9.5	434,399	305,330	連結実質赤字比率(%)	-	-		
物件費	888,196	13.5	634,979	449,007	10.9	農林水産業費	205,516	3.1	4,860	178,454	実質公債費比率(%)	13.3	13.7		
維持補修費	96,207	1.5	90,411	85,460	2.1	農林水産業費	377,611	5.7	4,990	331,727	将来負担比率(%)	68.1	72.9		
補助費等	768,401	11.7	572,709	387,109	9.4	農林水産業費	405,381	6.2	-	42,245	積立金	1,147,730	1,052,507		
うち一部事務組合負担金	365,373	5.6	331,710	291,625	7.1	農林水産業費	1,377,839	20.9	-	1,310,160	現在高	640,830	630,472		
繰出金	593,678	9.0	553,893	470,477	11.5	農林水産業費	-	-	-	-	特定目的	2,048,256	2,104,378		
積立金	110,967	1.7	105,000	-	-	農林水産業費	-	-	-	-	地方債現在高	10,402,270	10,824,300		
投資・出資金・貸付金	20	0.0	-	-	-	農林水産業費	6,582,542	100.0	861,183	4,508,850	(債務負担行為額)	-	-		
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	農林水産業費	-	-	-	-	物件等購入	-	-		
投資的経費	1,266,564	19.2	225,480	225,480	-	農林水産業費	178,360	2.7	-	-	保証・補償	-	-		
うち人件費	28,664	0.4	28,543	28,543	0.7	農林水産業費	59,257	0.9	-	-	その他	949,608	1,266,013		
内 普通建設事業費	861,183	13.1	183,235	183,235	6.5	農林水産業費	26,179	0.4	-	-	収益事業収入	-	-		
うち補助	311,854	4.7	65,275	65,275	2.3	農林水産業費	-	-	-	-	土地開発基金現在高	91,249	91,243		
うち単独	530,719	8.1	114,093	114,093	4.2	農林水産業費	-	-	-	-	徴収率	98.7	94.7		
災害復旧事業費	405,381	6.2	42,245	42,245	1.5	農林水産業費	82,104	1.2	-	-	現・計	99.2	96.0		
失業対策事業費	-	-	-	-	-	農林水産業費	273,957	4.0	-	-	年	98.3	93.7		
歳出合計	6,582,542	100.0	4,508,850	4,811,238	73.0	歳入一般財源等	4,811,238	73.0	4,811,238	4,811,238	合計	98.3	93.7		

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。  
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。  
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。  
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。  
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)













平成26年度 決算状況				人	22年国調	657人	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名	団体名	市町村類型	- 0
				口	17年国調	725人	27. 1. 1	592人	590人	区分	22年国調	17年国調	32	5279		
				面積	増減率	-9.4%	26. 1. 1	597人	596人	第1次	78	74	島根県	知夫村	地方交付税種地	2-1
				人口密度		13.70 km <sup>2</sup> 48人	増減率	-0.8%	-1.0%	第2次	14	41	区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)
歳入の状況 (単位千円・%)				区 分			市町村税の状況 (単位千円・%)			指定団体等の指定状況			収支状況			
区 分				決算額	構成比	経常一般財源等	区 分			収入済額	構成比	超過課税分	区 分			
							普通税	45,736	100.0	-	旧新産	×	歳入総額			
							法定普通税	45,736	100.0	-	旧工特	×	歳出総額			
							市町村民税	21,051	46.0	-	低開発	×	歳入歳出差引			
							内 個人均等割	926	2.0	-	旧産炭	×	翌年度に繰越すべき財源			
							内 所得割	18,808	41.1	-	山振	×	実質収支			
							内 法人均等割	1,240	2.7	-	過疎	×	単年度収支			
							内 法人税割	77	0.2	-	首都	×	積立金			
							内 固定資産税	19,687	43.0	-	近畿	×	繰上償還金			
							うち純固定資産税	19,628	42.9	-	中部	×	積立金取崩し額			
							軽自動車税	1,604	3.5	-	財政健全化等	×	実質単年度収支			
							市町村たばこ税	3,394	7.4	-	指数表選定	×				
							鉱産税	-	-	-	財源超過	×				
							特別土地保有税	-	-	-						
							法定外普通税	-	-	-						
							目的税	-	-	-						
							法定目的税	-	-	-						
							入湯税	-	-	-						
							内 事業所税	-	-	-						
							都市計画税	-	-	-						
							水利地益税等	-	-	-						
							法定外目的税	-	-	-						
							旧法による税	-	-	-						
							合計	45,736	100.0	-						
歳入合計				2,025,556	100.0	683,842	区 分			平成26年度(千円)			平成25年度(千円)			
性質別歳出の状況 (単位千円・%)				区 分			基準財政収入額			51,596			51,560			
区 分				決算額	構成比	充当一般財源等	基準財政需要額			671,894			692,443			
							標準税収入額等			63,363			63,641			
							標準財政規模			717,500			739,737			
							財政力指数			0.07			0.07			
							実質収支比率(%)			7.5			4.6			
							公債費負担比率(%)			17.8			18.1			
							健全化判断比率			-			-			
							実質赤字比率(%)			-			-			
							連結実質赤字比率(%)			-			-			
							実質公債費比率(%)			13.7			14.5			
							将来負担比率(%)			16.4			-			
							積立金			437,192			422,462			
							現在高			362,559			353,828			
							特定目的			72,379			77,220			
							地方債現在高			2,103,361			1,535,727			
							債務負担行為額			-			-			
							物件等購入			-			-			
							保証・補償			-			-			
							その他の実質的なもの			-			-			
							収益事業収入			-			-			
							土地開発基金現在高			40,135			40,117			
							徴収率(%)			100.0			100.0			
							現・計			100.0			100.0			
							純固定資産税			100.0			100.0			
歳出合計				1,970,726	100.0	904,039	歳入一般財源等			958,869千円						
							経常経費充当一般財源等計			710,958千円						
							経常収支比率			99.1% (104.0%)						
							(減収補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)									
							歳入一般財源等			958,869千円						
							公営事業等への繰上水道			-						
							国民健康保険			28,362						
							その他			29,095						
							国会議員公務災害			×			し尿処理			
							非常勤公務災害			×			ごみ処理			
							退職手当			×			火葬場			
							事務機共同			×			常備消防			
							税務事務			×			小学校			
							老人福祉			×			中学校			
							伝染病			×			その他			
							一部事務組合加入の状況			特別職等			定数			
							適用開始年月日			一人当たり平均給料(報酬)月額(百円)						
							議員公務災害			×			市区町村長			
							非常勤公務災害			×			副市区町村長			
							事務機共同			×			教育長			
							税務事務			×			議会議長			
							老人福祉			×			議会副議長			
							伝染病			×			議会議員			

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業費及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。  
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算入に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。  
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日(平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登記されている人口)を記載。  
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。  
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

